

日本 NPO 学会編集委員会議案

2023 年 5 月 16 日

編集委員会委員長

投稿規程について、以下のように変更したい（見え消しの投稿規程を別添）。

**1. 実践報告の規定見直し案**

上記の掲載対象に関する実践的または革新的取り組み事例の報告，アカデミックと実践との融合・産学連携などの報告，理論的検討や実証など学術的分析は想定していない。査読はなく，編集委員会によるブルーフリーディング（校閲）のみ。単なる活動報告や実践内容が不明瞭な場合、編集委員会の判断で掲載不可とすることもある。

**2. 既に公開された論文の投稿禁止の規定案**

投稿論文のうち研究論文，研究ノート，実践報告は，いずれも未公開の論文に限ります。すでに公開された論文には，雑誌論文（掲載予定・投稿中のものを含む），刊行図書・刊行図書所収の論文（出版予定のものを含む），各種団体や個人が実施し第三者が閲覧・利用できる状態になった報告書等を含みます。公開された論文あるいはその一部を，そのまま投稿することはできません。公開された論文と関連する内容の論文を投稿する場合には，公開された論文との関係について文中に説明が必要であるとともに、新たな分析を加えて議論を発展させたかたち書き直したり議論の焦点を変更したりするなどして，新たな論文とすることが必要です。

→1. 掲載対象および原稿作成方法の 2 パラグラフ目として挿入。

以上